

中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

中国・四国ブロック内のHIV感染者・AIDS患者の報告数は、全国の動向と同様の動向で、平成21年は減少したが、平成22年は増加している（図1、図2）。

なお、中国・四国ブロックでは、AIDS患者報告数が過去最高となっている。

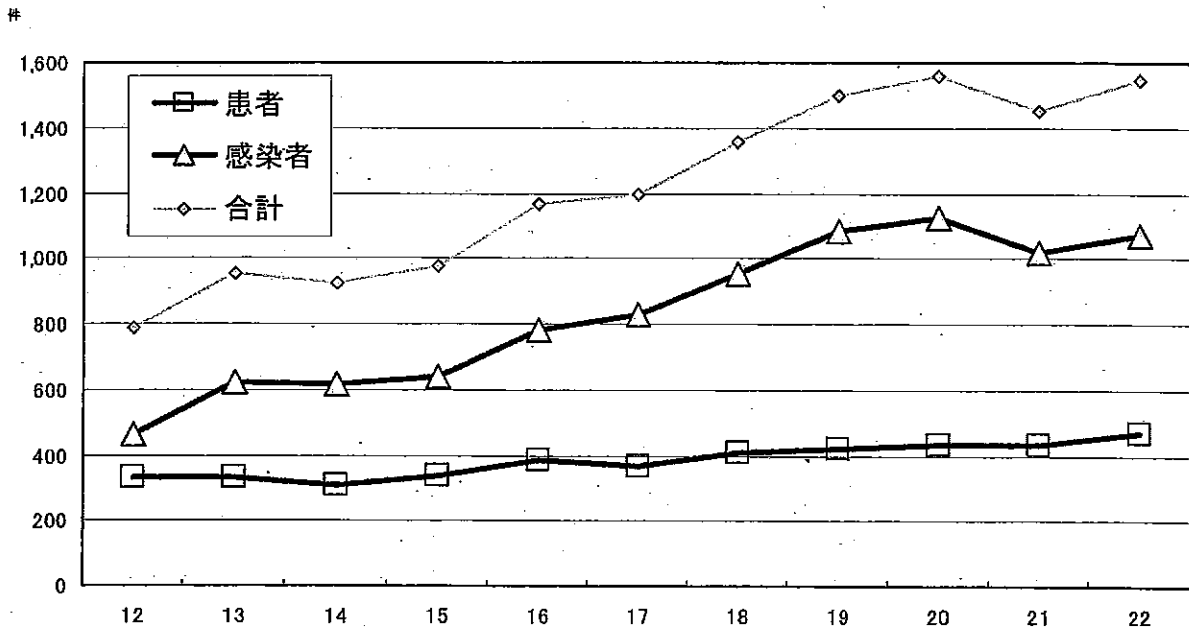


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

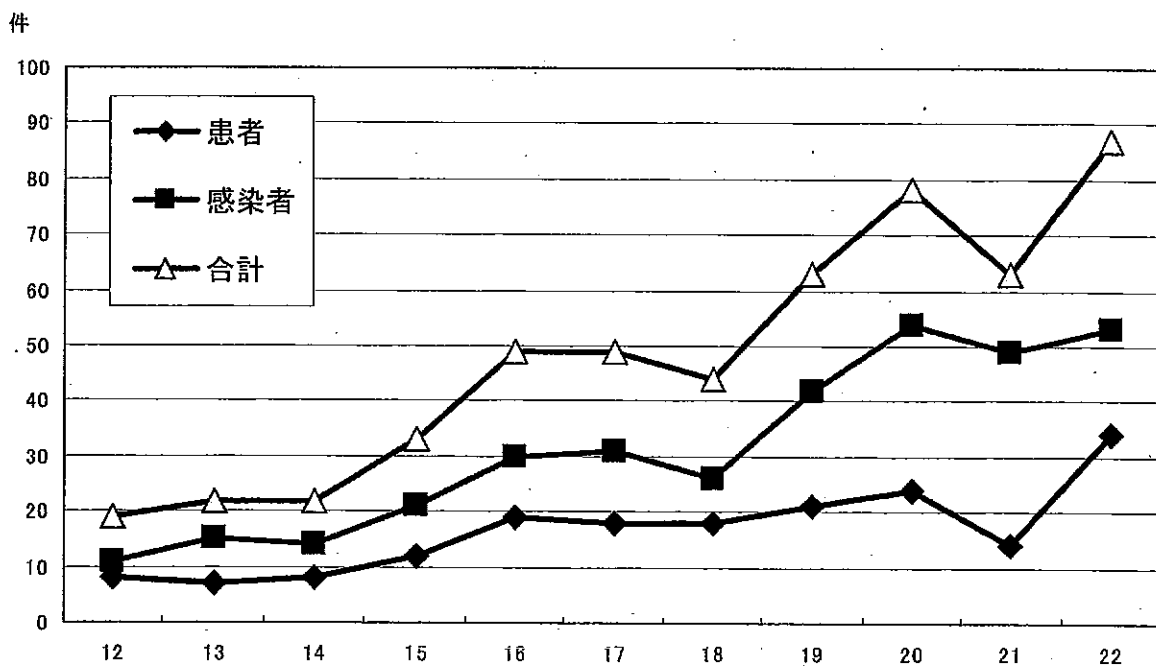


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(中国四国ブロック H12～H22 年報告例)

(1) HIV感染者について

中国・四国ブロック内で平成12年から平成22年に報告されたHIV感染者の感染経路は、異性間の性的接触が100件(28.9%)、同性間の性的接触が203件(58.7%)と、性的接触によるものがあわせて303件(87.6%)と大半を占めている(図3)。

(2) AIDS患者について

中国・四国ブロック内で平成12年から平成22年に報告された、AIDS患者の感染経路は、異性間の性的接触が59件(31.7%)、同性間の性的接触が72件(38.7%)と性的接触によるものがあわせて131件(70.4%)と多くを占めている(図4)。

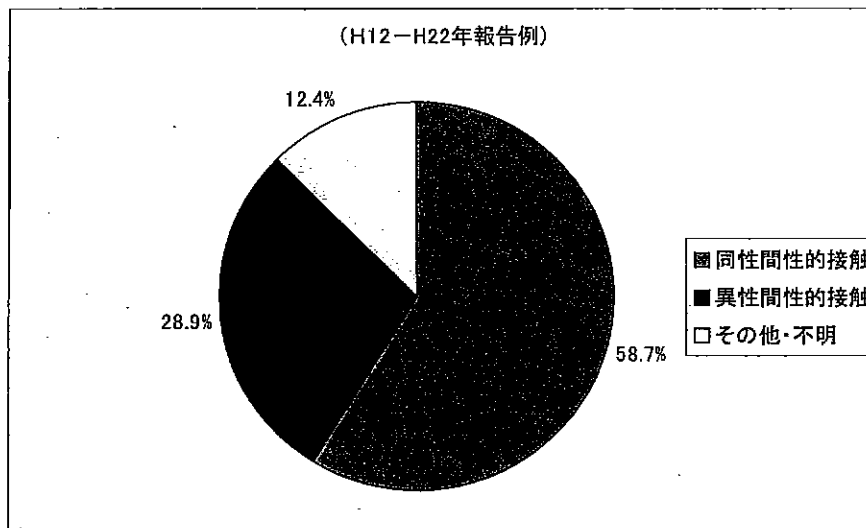


図3 中国・四国ブロックのHIV感染者の感染経路別内訳

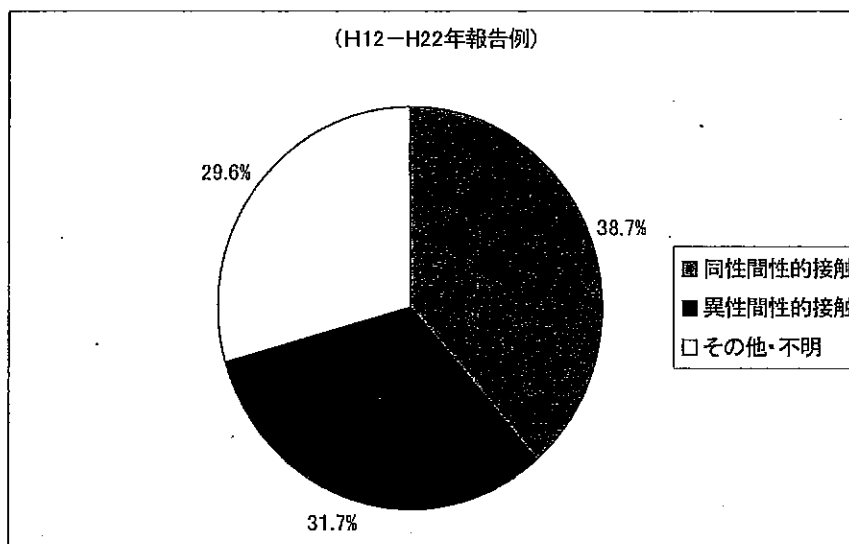


図4 中国・四国ブロックのAIDS患者の感染経路別内訳

3 都道府県別報告数について

平成 22 年の都道府県別 人口 10 万人あたりの報告数の上位 10 位には、中国・四国ブロックから 4 県ランクインしており、中国・四国ブロックにおいても高い感染状況を示している。このため、診察における見逃し防止や行政の無料匿名検査による早期発見、行動変容を呼びかける普及啓発活動等の総合的な HIV/AIDS 対策の更なる推進が必要とされている。

- HIV 感染者上位自治体：広島県（8 位 0.629）
- AIDS 患者上位自治体：岡山県（4 位 0.566）鳥取県（5 位 0.510）徳島県（6 位 0.509）

なお、中国・四国ブロック各県の HIV 感染者・AIDS 患者の人口 10 万対の累積報告件数は、表 3 のとおりである。

表1 HIV感染者の上位自治体

自治体	2010報告数	自治体	人口10万対*
1 東京都	400	1 東京都	3.04
2 大阪府	198	2 大阪府	2.234
3 愛知県	82	3 愛知県	1.107
4 神奈川県	55	4 沖縄県	0.79
5 千葉県	37	5 福岡県	0.69
6 福岡県	35	6 静岡県	0.664
7 静岡県	25	7 奈良県	0.643
7 兵庫県	25	8 広島県	0.629
8 埼玉県	23	9 神奈川県	0.608
9 広島県	18	10 石川県	0.59

表2 AIDS患者の上位自治体

自治体	2010報告数	自治体	人口10万対*
1 東京都	107	1 東京都	0.813
2 大阪府	68	2 大阪府	0.77
3 愛知県	56	3 愛知県	0.756
4 福岡県	23	4 岡山県	0.566
5 神奈川県	22	5 鳥取県	0.51
5 千葉県	22	6 徳島県	0.509
6 兵庫県	16	7 奈良県	0.5
7 岡山県	11	8 福井県	0.47
8 埼玉県	10	9 福岡県	0.453
9 茨城県	9	10 栃木県	0.399
9 広島県	9		

表3 中国・四国ブロックの人口 10 万対の累積報告件数

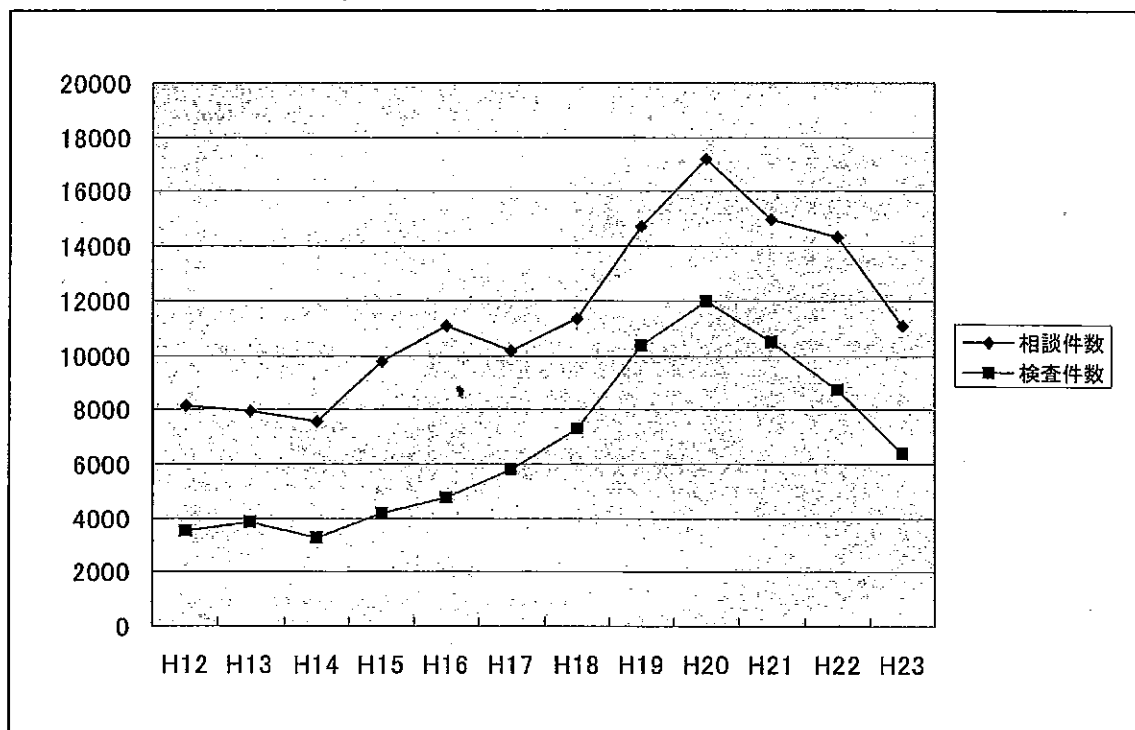
	HIV 感染者	AIDS 患者
全国	9.877	4.528
中国・四国ブロック	3.466	1.837
鳥取県	1.869	1.360
島根県	1.675	0.558
岡山県	3.496	2.519
広島県	4.894	1.888
山口県	3.101	0.827
徳島県	2.036	1.781
香川県	3.113	2.310
愛媛県	3.564	2.516
高知県	3.400	1.569

4 無料匿名検査及び相談

中国・四国ブロック内の自治体における無料匿名 HIV 抗体検査件数、相談件数とも、H20 年までは年々増加しているが、H21 年以降は、減少している（図 5）。

平成 23 年は、多くの自治体で検査・相談件数が前年同時期（第 1 から第 3 四半期で比較）よりも増加しており、中国・四国ブロック全体では、相談件数は、H22 年で 10,272 件であったのが、H23 年では、11,044 件（表 4）。H I V 抗体検査件数は、H22 年で 6,137 件であったのが、H23 年では、6,355 件（表 5）と増加に転じている。

今後も引き続き、保健所等における H I V 抗体検査・相談を引き続き推進、周知する等の取り組みが必要である。



(H23 年は、9 月末までのデータ)

図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次

表 4 中国・四国ブロックの相談件数

(H22 と H23 の比較)

相談	相談件数	
	H22 第 1～3 四半期*	H23 第 1～3 四半期*
鳥取県	28	3
島根県	321	393
岡山県	2049	2367
広島県	4455	4773
山口県	685	690
徳島県	714	652
香川県	866	892
愛媛県	1080	1199
高知県	74	75
計	10272	11044

*第 1～第 3 四半期とは、1 月から 9 月のこと

表 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数

(H22 と H23 の比較)

検査	検査件数	
	H22 第 1～第 3 四半期*	H23 第 1～第 3 四半期*
鳥取県	451	412
島根県	249	281
岡山県	763	809
広島県	1885	2014
山口県	731	747
徳島県	566	517
香川県	302	294
愛媛県	806	915
高知県	384	366
計	6,137	6,355

*第 1～第 3 四半期とは、1 月から 9 月のこと